

変性エポキシ樹脂下塗り塗料

ハイボン20デクロ

JIS K 5551
構造物用さび止めペイント C種 1号 2号

ハイボン20デクロ
(グレー、ブラウン、ホワイト)

JASS 18 M-109
変性エポキシ樹脂プライマー
適合品

ホルムアルデヒド
放散等級
F☆☆☆☆

特長

- ① JIS K 5551 構造物用さび止めペイント C種1号、C種2号に合格しています。(ハイボン20デクロ グレー・ブラウン・ホワイト)
- ② JASS18 M-109変性エポキシ樹脂プライマーの規格に適合しています。
- ③ 特殊エポキシ樹脂を配合することにより、2種ケレン面に対して防錆力、密着力がすぐれています。
- ④ 可とう性を有しており、旧塗膜の付着性低下の原因である内部応力を抑制します。
- ⑤ 低温乾燥性にすぐれた、変性エポキシ樹脂下塗り塗料(低温用)「ハイボン20デクロW」もごございます。(JIS非該当品)

用途

鋼構造物など防食性が要求される箇所の下塗り

塗装仕様例

■ポリウレタン樹脂塗料仕上げ

工程	塗料名	使用量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥 時間(23℃)	シンナー名 希釈率	標準膜厚 (μm/回)
素地調整	発錆部についてはISO St3まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。					
下塗り	ハイボン20デクロ	0.20 (はけ・ローラー)	1~2	16時間以上 1ヵ月以内 (*注1、注2)	ハイボンエポキシシンナー 0~5%	50
中塗り	ハイボン30マスチック中塗K	0.14 (はけ・ローラー)	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシシンナー 0~5%	30
上塗り	ハイボン50上塗	0.12 (はけ・ローラー)	1	—	ハイボンウレタンシンナー 0~10%	30

■ふっ素樹脂塗料仕上げ

工程	塗料名	使用量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥 時間(23℃)	シンナー名 希釈率	標準膜厚 (μm/回)
素地調整	発錆部についてはISO St3まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。					
下塗り	ハイボン20デクロ	0.20 (はけ・ローラー)	1~2	16時間以上 1ヵ月以内 (*注1、注2)	ハイボンエポキシシンナー 0~5%	50
中塗り	デュフロン100中塗K	0.14 (はけ・ローラー)	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシシンナー 0~5%	30
上塗り	デュフロン100フレッシュ	0.12 (はけ・ローラー)	1	—	デュフロン100フレッシュシンナー 0~10%	25

- ※注1 ハイボン20デクロ同士、ハイボン20デクロ+ハイボン30マスチック中塗K、ハイボン20デクロ+デュフロン100中塗K……16時間以上1ヵ月以内。
注2 ハイボン20デクロ+上塗りの場合*……16時間以上7日以内。*適合上塗りにつきましては、当社営業所までお問い合わせください。
●上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
●上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

素地との付着性

素地	付着性	備考
鉄	○	
ステンレス	○	SUS316、SUS304など
溶融亜鉛めっき	○ *	白さび除去必須
電気亜鉛めっき	○	ボンデライトなど
アルミ	○	A1050Pなど
アルミアルマイト	×	
プラスチック	×	

※金属光沢がなくなるまで屋外暴露(目安として6ヵ月)した後、白さびを除去してください。

容量

	20kgセット	5kgセット
ハイボン20デクロ	塗料液/硬化剤 17kg/3kg	塗料液/硬化剤 4.25kg/0.75kg
ハイボン20デクロW	塗料液/硬化剤 17kg/3kg	—
ハイボンエポキシシンナー (2液形用)	16L	4L

色相 *印刷に付き、実際の色とは異なります。



ブラウン (07-40P近似) グレー (N-70近似) ホワイト (25-85A近似)

※淡彩色につきましては、JIS表示できません。(JIS非該当品になります)
注)ハイボン20デクロWはJIS非該当品になります。

ハイボン®20デクロ

使用方法

- 下地調整：① 1種ケレン後ジンクリッチプライマーを塗装した上に塗装することができます。
② ジンクリッチの損傷箇所・溶接部分などについて2種ケレンを行えば直接補修用として使用できます。
③ 塗り替え時の下地調整は発錆部についてはISO St3まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。
④ 暴露経過後の亜鉛めっき面に塗装するときは、白さびおよび付着物を十分に除去してください。
- 混合：2液形のため塗料液と硬化剤を規定の割合〔重量比(塗料液85/硬化剤15)〕に混合し、十分かくはん後ご使用ください。
- ポットライフ：ハイボン20デクロ 8時間(23℃)
ハイボン20デクロW 5時間(5℃) 3時間(10℃)
- シンナー：ハイボン20デクロ ハイボンエポキシシンナー (夏用:ハイボンエポキシシンナーS)
ハイボン20デクロW ハイボンエポキシシンナーW (冬用:ハイボンエポキシシンナーWも取りそろえています。)
- エアレス条件：一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

塗装方法	ハイボン20デクロ		ハイボン20デクロW		乾燥時間						
	はけ又はローラー塗り	エアレススプレー塗り	はけ又はローラー塗り	エアレススプレー塗り	温度	5℃	23℃	30℃	5℃	23℃	30℃
希釈率	0~5%	0~5%	0~5%	0~5%	指触乾燥	1時間	30分	20分	1時間	—	—
使用量	0.20kg/m ² /回	0.40kg/m ² /回	0.20kg/m ² /回	0.40kg/m ² /回	半硬化乾燥	12時間	6時間	5時間	7時間	—	—
乾燥膜厚	50μm	80μm	50μm	80μm	塗り重ね乾燥1	32時間以上 1ヶ月以内	16時間以上 1ヶ月以内	16時間以上 1ヶ月以内	16時間以上 1ヶ月以内	—	—
ウェット膜厚	100μm	160μm	100μm	160μm	塗り重ね乾燥2	32時間以上 10日以内	16時間以上 7日以内	16時間以上 5日以内	16時間以上 10日以内	—	—

※使用量・膜厚は標準の数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器測定方法により幅を生じ増減します。

※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。※塗り重ね乾燥2…上塗り(適合上塗りにつきましては、当社営業所まで必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。)

※塗り重ね乾燥1…ハイボン20デクロ、ハイボン30マスタック中塗K、デュフロン100中塗Kなど

使用上のご注意 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ハイボン20デクロは低温時において乾燥が著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5℃以下の気温が連続する場合は、ハイボン20デクロWをご使用ください。
- ハイボン20デクロWは外気温が20℃以上になりますと、ポットライフが著しく短くなりますので、20℃以上の外気温が連続する場合は、一般用のハイボン20デクロをご使用ください。
- ウェットフィルムゲージでウェット膜厚を管理しながら塗装してください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- 亜鉛めっき面についてはリン酸処理したものか、もしくは12ヵ月以上屋外暴露したものを対象としてください。
- 没水部などへの適用は避けてください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入れ口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 (ハイボン20デクロ ホワイト塗料液)

横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書入手してください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。— 禁煙です。
- 容器を密閉しておいてください。
- 容器を接地/アースをとってください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生させない工具を使用してください。
- 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- 必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けてください。
- 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 漏出物を回収してください。
- 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水シャワーで洗ってください。
- 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
24. 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
25. ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けてください。
26. 皮膚刺激を生じた場合:医師の診断/手当を受けてください。
27. 眼の刺激が続く場合は:医師の診断/手当を受けてください。
28. 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
29. 火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。
30. 施設にて保管してください。
31. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
32. 直射日光や水濡れは厳禁です。
33. 塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。
34. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
35. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
36. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
37. 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

*上記の表示は一例です。
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/吸入すると有害/遺伝性疾患のおそれ/発がんのおそれの疑い/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回ばく露)/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2016 NIPPON PAINT Co., Ltd All rights reserved.
- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

カタログNo.

NP-T153

MX160410T
2016年4月現在